

神戸の見どころ

KOBE
エリア特集

3エリア紹介

国際色豊かな神戸の街。建物から食べ物まで、それぞれの個性がその街の雰囲気をつくりだしています。特に神戸を代表する3つのエリア、テイクアウトの飲食店がにぎやかな中華街の「南京町」、体験施設が充実のノスタルジックな「北野」、レトロビルが立ち並ぶモダンな「旧居留地」にご案内。



Nankinmachi
食&散策

食べ歩き

南京町といえばテイクアウト、というほどたくさん店が並んでいます。名物豚まん、ローメン、焼とり、水餃子...街はまるごと本家中国の味の競演！南京町広場に座って食べるのがここでは一般的。

中国雑貨

チャイナドレスから風水グッズ、中華食材まで多種多様な品揃え。お土産にぴったりの価格もうれしいところです。



南京町

湯気が立ち上がる
チャイナタウン
本物の中華がここにあり

参照▶P145
MAP▶P142-2C

南京町は、旧居留地などで働く中国人がその西側に集まり住んだことが始まり。昭和初期に中国の雑貨商や料理店が並び活気づきました。戦災や震災を乗り越え、1世紀を越える今も約100店余りの中国風の店がひしめき、チャイナ気分満載で迎えてくれます。



南京町の街並み

長安門から続く約300mのメインストリートには行列のできるテイクアウトの店がずらり。春節祭の近くには、南京町広場で練習する龍や獅子に出会えるかもしれません。



Kitano
体験&散策



体験施設

異人館ではその国の文化を体験できる施設が多くあるので、ぜひ異文化に触れてみましょう。また「北野工房のまち」は、神戸の職人技を体験できる施設です。

異人館街

国の重要文化財である「風見鶏の館」萌黄の館」など、欧米様式美をどめる建築が今でも残っており、そのうち、25棟が一般公開されています。



この故国を離れた異人たちが、海を一望できるこの高台に邸宅を構えたことから誕生した北野異人館街。ノスタルジックな雰囲気にいどられた街では、いたるところで、ここに居を構えたさまざまな国の文化や歴史に触れることができます。



kyu-kyoryuchi
散策&食

レトロビル散策



商船三井ビル、15番館など、当時の面影を残すビルが街中に残っています。それらを利用したカフェも多いので、散策がてらにお茶をするのもひとつの楽しみ方です。

神戸ルミナリエ



震災の鎮魂と再生への願いをこめて開催される光のイベント。期間中は居留地もライトアップされ、今では神戸の冬のクライマックスとして定着しました。

©Valerio Festi/I&F Inc./Kobe Luminarie O.C.

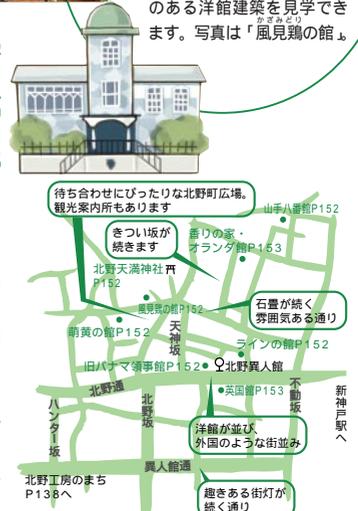
北野

異人館街での体験をきたの



北野の街並み

六甲山南麓へ続く坂道をのぼると、細い路地に洋館が立ち並び北野・山本地区へ。さまざまな様式で建てられた、歴史的価値のある洋館建築を見学できます。写真は「風見鶏の館」。



外国文化を刻んだ街で レトロビル散策 旧居留地

ルミナリエの会場としても有名な旧外国人居留地。1868(慶応3)年に開港した時につくられました。当時の英字新聞には「東洋の理想的な居留地」と報じられたそう。現在もレトロな建物を使ったファッションビルやレストランが並びおしゃれなエリアです。



旧居留地の街並み

開設時の面影を残す欧風な街並みがあちこちに見られます。街路樹など緑も多く、レンガ造りの建物をいどっています。そんなおしゃれな雰囲気のせいか、ショッピングスポットとしても有名。

